

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社クレハ

コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 古谷 良樹

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

TEL 03-3249-4651

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	29,110	△15.4	663	△74.2	772	△71.8	200	△74.6
21年3月期第1四半期	34,418	—	2,574	—	2,737	—	790	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.12	1.12
21年3月期第1四半期	4.38	4.38

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	180,869	97,392	53.6	541.04
21年3月期	182,224	97,074	52.4	533.45

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 96,952百万円 21年3月期 95,575百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	64,000	△13.1	400	△93.1	200	△96.3	100	△95.2	0.56
通期	145,000	0.9	7,000	△26.0	6,000	△30.6	2,700	△20.0	15.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 181,683,909株 21年3月期 181,683,909株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 2,488,297株 21年3月期 2,520,011株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 179,162,411株 21年3月期第1四半期 180,668,380株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

<当期の概況>

当第1四半期の方が国経済は、世界的景気後退に対応した各国金融・財政出動が奏功して、輸出の減少は一時よりは緩やかになりましたが、民間設備投資の抑制傾向は変わらず、個人消費は政策効果により下支えされた一部を除き、雇用不安から冷込みが強まってまいりました。

化学工業におきましては、在庫調整の一巡、中国等アジア向けの輸出回復により減産傾向が緩和されましたが、内需低迷に伴う製品価格引下げ圧力が払拭されないなか原燃料価格が再び上昇気配を見せるなど、厳しい状況が続きました。

当社及びグループ各社はこのような状況のもと、2012年度を最終年度とする新中期経営計画「中期経営計画Grow Globally（グローバル展開による成長）」（略称：「中計GG」）の2年目であり、実質的な初年度に当る当期において、積極的な設備投資をした事業の売上拡大、既存事業のコスト削減、事業環境変動に対応した戦略再構築に取り組んでおりますが、当第1四半期の連結売上高は前年同期比15.4%減の291億10百万円、営業利益は前年同期比74.2%減の6億63百万円、経常利益は前年同期比71.8%減の7億72百万円となりました。

四半期純利益につきましては、特別利益として事業再編に伴う株式売却益を計上いたしましたが、前年同期比74.6%減の2億円となりました。

<セグメント別の概況>

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売 上 高			営 業 利 益		
	前第1四半期	当第1四半期	増 減	前第1四半期	当第1四半期	増 減
機能製品事業	9,931	6,714	△3,216	818	△406	△1,225
化学製品事業	8,057	7,143	△914	1,108	777	△330
樹脂製品事業	10,632	10,137	△494	539	387	△151
その他事業	5,797	5,114	△683	237	△82	△320
消 去	—	—	—	△129	△13	116
連結合計	34,418	29,110	△5,308	2,574	663	△1,911

① 機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂は自動車用途及び電気・電子素材用途の需要が減少し、特に米国における合弁事業の不振の影響が大きく、売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。ふっ化ビニリデン樹脂は、リチウムイオン二次電池用バインダー用途及び工業用素材用途の需要減少に加え、円高により、売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。

炭素製品分野では、球状活性炭は輸出が増加いたしました。炭素繊維は太陽電池パネル製造用等の高温熱処理炉用断熱材用途の需要が低迷したうえ、円高及び設備投資に伴う償却費が増加し、この

分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比32.4%減の67億14百万円となり、営業損益については前年同期8億18百万円の営業利益から4億6百万円の営業損失となりました。

## ② 化学製品事業

医薬・農薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」は前年同期に比べ若干売上げが減少、抗悪性腫瘍剤「クレスチン」は売上げが増加、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」は輸出の減少と共に円高ユーロ安により、この分野の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

工業薬品分野では、か性ソーダ・塩酸等の無機薬品類は製品価格が上昇したものの、クロルベンゼン類は製品価格が下落し、両製品共に販売数量が減少したことにより、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比11.3%減の71億43百万円となり、営業利益は前年同期比29.8%減の7億77百万円となりました。

## ③ 樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」は改良された商品価値を反映する市場価格形成に注力して成果を上げ、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは前年同期並みで推移し、この分野の売上げは前年同期に比べ増加いたしましたが、他製品全般の生産量減少による固定費負担が増加し、営業利益は減少いたしました。

業務用食品包装材分野では、国内については、塩化ビニリデン・フィルムの売上げは前年同期並みで推移いたしましたが、熱収縮多層フィルム、ラミネート用ハイバリア・フィルム「ベセーラ」、多層ボトルの売上げは減少し、又、欧州子会社では前年同期を上回る販売実績となったものの、円高ユーロ安による円貨換算減少により、この分野の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

包装機械は国内においてクリップレス自動充填結紮機の大口出荷があり、売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしましたが、中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドは売上げが増加したものの、「NEWクレラップ」と同様の固定費負担が増加し、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比4.7%減の101億37百万円となり、営業利益は前年同期比28.2%減の3億87百万円となりました。

## ④ その他事業

環境関連分野では、景気後退による経済活動の停滞により廃棄物の発生量が大幅に減少したことを受け、前年同期に比べ売上げは大幅に減少し、それに伴う処理費等変動費の減少はありましたが営業損失となりました。

建設関連分野では、前期に着手した北関東での大型商業施設の完工があり前年同期に比べ売上げが大幅に増加し、資材費高騰による利益率の減少はありましたが、営業利益も前年同期に比べ増加いた

しました。

運輸・倉庫関連分野では、運送部門での輸送量減少、競争激化による販売の落ち込みがあり、前年同期に比べ売上げは減少いたしました。経費削減に努めた結果、営業利益は前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比11.8%減の51億14百万円となり、営業損益については前年同期2億37百万円の営業利益から82百万円の営業損失となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### <当期の概況>

当第1四半期末の資産の部につきましては、流動資産は、売上げ減少による債権の減少、生産調整によるたな卸資産の減少などにより、前期末に比べ40億38百万円減の645億54百万円となりました。有形固定資産は、海外生産を含む高水準の設備投資が償却費増加を上回り、前期末に比べ5億71百万円増の779億35百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の時価が前期末より若干回復したことによる増加、連結範囲の変更に伴う関連会社株式の増加（連結子会社でありました加古川プラスチック㈱の株式を一部売却したことにより持分法適用関連会社に変更）などにより、前期末に比べ23億18百万円増の374億77百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前期末に比べ13億54百万円減の1,808億69百万円となりました。

負債の部につきましては、有利子負債は短期・長期借入金共に増加し、前期末に比べ31億73百万円増の472億7百万円となりました。生産調整による仕入債務の減少、賞与及び法人税等の支出に伴う賞与引当金及び未払法人税等の減少などにより、負債合計として前期末に比べ16億72百万円減の834億77百万円となりました。

純資産の部につきましては、四半期純利益2億円を計上し、剰余金の配当等を実施した結果、利益剰余金が6億28百万円減少し、株式の評価差額金が11億円増加、為替換算調整勘定が9億53百万円増加、少数株主持分が連結範囲の変更に伴う減少などによる10億47百万円減少等の差引きとして、純資産合計は、前期末に比べ3億17百万円増の973億92百万円となりました。

このような総資産の変動は、景気後退、為替相場、株価などの外部要因を除いて、海外における設備投資の増加と対応する外部資金調達など新たな事業展開の動きを主因とするものであります。

### <キャッシュ・フローの状況>

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,495	2,199	3,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,421	△3,832	△411
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,432	2,264	△3,167
現金及び現金同等物期末残高	6,593	8,063	1,469

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは21億99百万円の収入となり、前年同期に比べ36

億95百万円収入が増加いたしました。これは前年同期に比べ運転資本の減少、及び法人税等支払額の減少により資金が増加したことによるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは38億32百万円の支出となり、前年同期に比べ4億11百万円の支出増加となりました。これは子会社株式の売却による収入があったものの、設備投資による支出が増加したことによるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは22億64百万円の収入となり、前年同期に比べ31億67百万円の収入減少となりました。これは前期における100億円の社債発行が当期はなかったことにより、資金調達額が前年同期に比べ大きく減少したことによるものです。以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末に比べ7億98百万円増加し、80億63百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

経営環境については、一部に回復の兆しもでてきておりますが、回復が軌道に乗るかどうかは依然として不透明な状況であり、仮に回復してもその度合いはゆるやかなものになると予想されます。

このような環境に対し、当社グループはいわき事業所内の5工場と国内グループ会社8社において「クレハ・パワーファイブ」運動を進め、製造力（①品質力②購買・物流力③製造技術力④生産企画力⑤環境・安全力の5つの力）の強化、製造費の低減を図ってまいります。又、将来の成長に向けた準備も着実に進めてまいります。「機能製品事業」におきましては、炭素製品について、中国（上海）等海外生産によるコスト競争力の強化を図ると共に、いわき事業所、中国及び米国（ペンシルバニア州）の各生産拠点を核とした能力増強を含む生産販売体制のグローバルなネットワークの構築を引き続き進めてまいります。「化学製品事業」におきましては、引き続き医薬・農薬の市場拡大を図ってまいります。「樹脂製品事業」におきましては、業務用食品包装フィルム製造のベトナム移管を計画通りに進め、当該事業の収益基盤を確立すると共に、今後の成長が期待される東南アジア・インド・オセアニア地域での事業展開を加速することといたします。又、コンシューマー・グッズのリニューアルを核とした拡販・商品価値を反映した市場価格形成を継続してまいります。「その他事業」におきましても、原価低減等を推進してまいります。これら諸施策を通じて、当社及びグループ各社は、年間利益目標を達成するべく努力を重ねてまいります。

以上の具体的施策に基づく通期の連結業績といたしましては、売上高は1,450億円（前期比0.9%増）、営業利益は70億円（前期比26.0%減）、経常利益は60億円（前期比30.6%減）、当期純利益については27億円（前期比20.0%減）と見通しております。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 簡便な会計処理

###### 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

###### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

###### ① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

###### ② 税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### 工事契約に関する会計基準

従来、請負工事に係る収益の計上基準については、請負金額等を基準として一部の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。なお、当該変更がセグメントに与える影響は軽微であるため、当該箇所への記載は省略しております。

5 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (2009年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,063	7,264
受取手形及び売掛金	24,328	30,137
有価証券	—	5
商品及び製品	16,029	17,773
仕掛品	2,481	2,005
原材料及び貯蔵品	5,522	5,962
その他	8,263	5,597
貸倒引当金	△134	△154
流動資産合計	64,554	68,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,542	26,930
機械装置及び運搬具（純額）	24,221	25,113
その他（純額）	26,170	25,320
有形固定資産合計	77,935	77,363
無形固定資産	903	1,108
投資その他の資産		
投資有価証券	20,802	18,678
その他	17,118	16,975
貸倒引当金	△444	△494
投資その他の資産合計	37,477	35,159
固定資産合計	116,315	113,631
資産合計	180,869	182,224

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (2009年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,121	18,228
短期借入金	17,985	17,353
未払法人税等	1,042	1,216
賞与引当金	1,026	2,224
役員賞与引当金	17	64
その他	12,571	13,349
流動負債合計	47,764	52,436
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	14,222	11,680
退職給付引当金	2,045	2,047
役員退職慰労引当金	304	432
その他	4,140	3,552
固定負債合計	35,713	32,713
負債合計	83,477	85,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,948	10,013
利益剰余金	72,151	72,779
自己株式	△1,248	△1,265
株主資本合計	93,311	93,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,857	3,756
繰延ヘッジ損益	△4	△5
為替換算調整勘定	△1,211	△2,165
評価・換算差額等合計	3,641	1,586
新株予約権	34	47
少数株主持分	404	1,452
純資産合計	97,392	97,074
負債純資産合計	180,869	182,224

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年6月30日)
売上高	34,418	29,110
売上原価	24,498	21,493
売上総利益	9,920	7,616
販売費及び一般管理費	7,345	6,953
営業利益	2,574	663
営業外収益		
受取利息	20	24
受取配当金	360	363
持分法による投資利益	92	58
負ののれん償却額	31	15
その他	128	123
営業外収益合計	634	586
営業外費用		
支払利息	163	200
売上割引	104	114
その他	203	161
営業外費用合計	471	476
経常利益	2,737	772
特別利益		
固定資産売却益	29	40
関係会社株式売却益	—	136
投資有価証券売却益	—	68
その他	13	34
特別利益合計	43	279
特別損失		
固定資産除売却損	176	146
たな卸資産評価損	869	—
その他	67	23
特別損失合計	1,114	170
税金等調整前四半期純利益	1,666	882
法人税等	910	733
少数株主損失(△)	△35	△52
四半期純利益	790	200

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,666	882
減価償却費	2,374	2,545
負ののれん償却額	△31	△15
引当金の増減額 (△は減少)	△287	△202
受取利息及び受取配当金	△381	△388
支払利息	163	200
為替差損益 (△は益)	—	0
持分法による投資損益 (△は益)	△92	△58
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	146	105
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	10	—
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△204
売上債権の増減額 (△は増加)	3,400	5,485
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,963	1,420
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,371	△2,522
仕入債務の増減額 (△は減少)	△437	△2,934
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,841	△1,383
その他	△85	78
小計	269	3,009
利息及び配当金の受取額	381	388
利息の支払額	△138	△231
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,008	△966
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,495	2,199
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,577	△4,720
有形及び無形固定資産の売却による収入	85	48
有形固定資産の除却による支出	△87	△28
投資有価証券の取得による支出	△384	△5
投資有価証券の売却による収入	—	403
出資金の払込による支出	△0	△97
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	547
貸付けによる支出	△170	△0
貸付金の回収による収入	64	12
事業譲受による支出	△300	—
その他	△52	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,421	△3,832

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,100	416
長期借入れによる収入	679	3,717
長期借入金の返済による支出	△1,309	△960
社債の発行による収入	9,942	—
自己株式の取得による支出	△3	△1
配当金の支払額	△756	△895
少数株主への配当金の支払額	△19	△3
その他	—	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,432	2,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	223
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	473	798
現金及び現金同等物の期首残高	6,120	7,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,593	8,063

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2008年4月1日 至 2008年6月30日）

	機能製品 事業 (百万円)	化学製品 事業 (百万円)	樹脂製品 事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	9,931	8,057	10,632	5,797	34,418	—	34,418
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	123	57	303	3,607	4,091	(4,091)	—
計	10,054	8,114	10,935	9,404	38,509	(4,091)	34,418
営業費用	9,236	7,006	10,396	9,166	35,805	(3,961)	31,844
営業利益	818	1,108	539	237	2,704	(129)	2,574

当第1四半期連結累計期間（自 2009年4月1日 至 2009年6月30日）

	機能製品 事業 (百万円)	化学製品 事業 (百万円)	樹脂製品 事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	6,714	7,143	10,137	5,114	29,110	—	29,110
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	164	39	271	4,551	5,026	(5,026)	—
計	6,879	7,182	10,409	9,665	34,136	(5,026)	29,110
営業費用	7,286	6,404	10,021	9,747	33,460	(5,013)	28,446
営業利益又は 営業損失(△)	△406	777	387	△82	676	(13)	663

(注) 1 事業区分の方法

機能製品事業、化学製品事業、樹脂製品事業の3事業とその他事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要製品及び役務の名称

事業区分	主要製品等
機能製品 事業	PPS樹脂、ふっ化ビニリデン樹脂 制電樹脂、静電気障害対策製品 炭素繊維、球状活性炭、特殊炭素材料、金属蒸着フィルム
化学製品 事業	慢性腎不全用剤、抗悪性腫瘍剤、農業・園芸用殺菌剤 か性ソーダ、塩酸、液体塩素、次亜塩素酸ソーダ モノクロルベンゼン、パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン 粒状培土、園芸培土
樹脂製品 事業	家庭用ラップ、流し台用水切りゴミ袋、クッキングシート プラスチック製食品保存容器、ふっ化ビニリデン釣糸 塩化ビニリデン・フィルム、塩化ビニリデン・コンパウンド 熱収縮多層フィルム、多層ボトル、ラミネート用ハイバリア・フィルム 自動充填結紮機（食品包装用）
その他 事業	環境修復及び産業廃棄物の処理、産業設備の設計・工事監理業務 土木・建築工事の施工請負業務、運送及び倉庫業務、理化学分析、測定、試験及び検査業務

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。